

平成29年度教育研究活動報告書

氏名	西嶋 亜美	所属	芸術文化学部美術学科
学位	博士(文学)	職位	講師
専門分野	西洋美術史(フランス近代美術史)		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	美学講義(通年) 西洋美術史講義(通年) 西洋美術史講義Ⅰ(前期)Ⅱ(後期) 博物館入門(前期) 博物館実習Ⅰ(後期) 博物館実習 事前事後学習(通年) 古美術研修 美術表現入門(後期・オムニバス)		
大学院	芸術学特講(通年) 美術史特講(西洋)(通年)		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈共著書〉西嶋亜美「19世紀中葉のバリで描かれた同時代の恋愛イメージ—クールベ作『田園の恋人』とワルツの画像—」、伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、2017年以降刊行予定*(査読あり)。			
(2) 〈論文〉西嶋亜美『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士学位論文、2016年			
(3) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる二点の《ジャールとハッサンの闘い》——戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察——」『日仏美術学会会報』第34号、2015年、3-23頁(査読あり)			
(4) 〈学会発表〉Ami NISHIJIMA "L'emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix.", Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, 2012/5/18, Centre Allemand de l'Art, Paris.			
(5) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作『墓地のハムレットとホレーシオ』諸作品をめぐる一演劇の豊饒さから絵画独自の効果へ—」、『美術史』第172冊、2012年、173-191頁(査読あり)			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈共著書〉西嶋亜美「19世紀中葉のバリで描かれた同時代の恋愛イメージ—クールベ作『田園の恋人』とワルツの画像—」、伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、2017年以降刊行予定*(査読あり)。			
(2) 〈論文〉西嶋亜美「19世紀中葉の『反復』制作とドラクロワ—自作の『反復』の諸相—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第17号、2018年3月、153-167頁(査読なし)			
(3) 〈その他〉報告書「造形芸術における描写とリアリズム—フランス近代美術史の立場から—」『19世紀文学とリアリズム 研究会報告書』2018年3月			
(4) 〈論文〉西嶋亜美『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士学位論文、2016年			
(5) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる二点の《ジャールとハッサンの闘い》——戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察——」『日仏美術学会会報』第34号平成27年3月、3-23頁(査読あり)			
(6) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作《トラヤヌス帝の正義》——知的文化的潮流から絵画へ——」『鹿島美術研究年報』別冊、2014年、153-163頁(査読なし)			
(7) 〈翻訳・解説〉西嶋亜美「ドラクロワの『モロッコ旅行記』試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-85頁(予定)(査読なし)			
(8) 〈学会発表〉「ドラクロワ作《十字軍のコンスタンティノープル攻略》—歴史的細部の再現と普遍性—」第68回 美術史学会全国大会、岡山大学(2015年5月23日)			
(9) 〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワの著述にみる文学と絵画」広島芸術学会第28回総会・大会(2014年7月27日、於ひろしま美術館)、50分間、レジュメ審査あり			
(10) 〈研究ノート〉西嶋亜美「19世紀前半のフランスで『文学作品を描く』こと—歴史的背景とジャンルの問題—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第15号、2016年(平成27年度)、71-81頁			
(11) 〈研究ノート〉「ドラクロワの『日記』における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—」『藝術研究』(28) 2015年7月、31-45頁(査読あり)			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) フランス近代美術における反復と再制作			
(2) ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学			
(3) 芸術家のオリエント世界体験の意義			
学会、所属団体における活動(本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
美術史学会、美学会、日仏美術学会、広島芸術学会、Association of Historians of Nineteenth-Century Art.			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 経済情報学部小川研究室の街中ゼミThe アカデミズム第3回招待「蜜蜂のように学べ?ドラクロワにおける『模写』の意図と効能を考える」12月15日			
(2) AIR Zine編集室参加、第5号への原稿執筆(2月発行)、および啓文社新浜店において選書(計4回参加)			
(3) 大学美術館にて座談会「反復と再制作」企画・登壇			